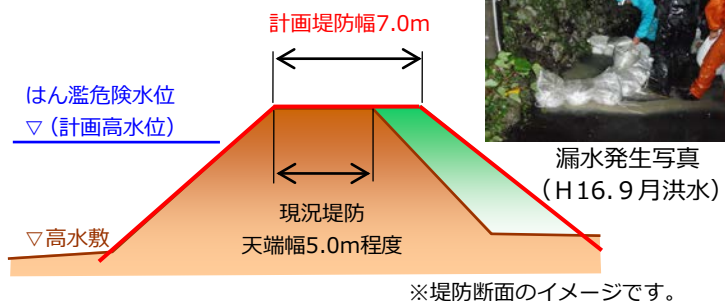
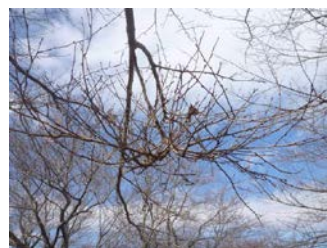


宮川堤の現状と課題

- ◆ 宮川堤は安全性が不足しているため、早急に堤防を強化する必要があります。
- 現在の宮川堤は、計画に対して堤防幅が不足しています。
- 近年も洪水時に堤防沿いで「ガマ」が噴いたり、漏水等の災害が発生しています。



- 堤防の桜は堤防を強くする「いにしへの知恵」とされてきましたが、現在の宮川堤の桜は老齢期を迎えているので枯死や倒伏により、堤防の弱体化の恐れがあります。



テング巣病に感染した枝



寿命を迎え枯死した桜

宮川堤の歴史的・景観的特長

- ◆ 宮川堤の改修は、流域の皆さまの愛着ある場所を残しながら整備することが望まれます。
- 宮川堤は、江戸時代から桜の名所として有名であり、三重県の名勝に指定されています。
- 宮川堤には、3本の突出し堤、境楠大明神や大日権現社、伊勢神宮に関連した渡し場跡（桜の渡し、柳の渡し）など、歴史・文化的資源が数多くあります。



春の宮川堤と駿河堤（貞享2年・1685）



棒堤（寛保2年・1742）



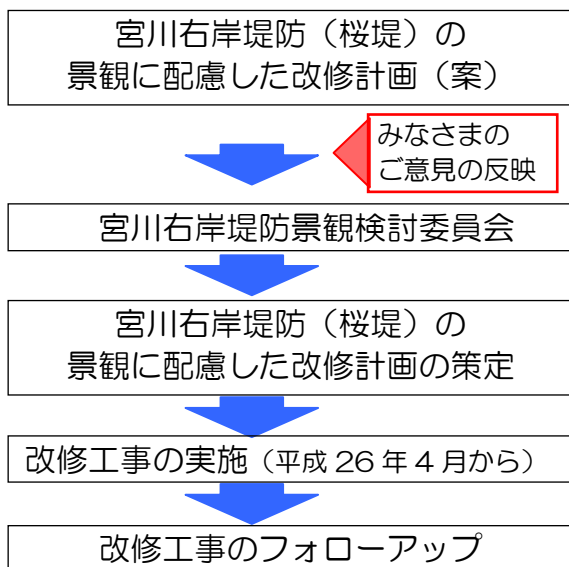
周防堤（元禄15年・1702）

堤防改修工事の進め方

市民の皆様が親しまれる安全な堤防にするため、パブリックコメントや説明会でいただいたご意見を計画に反映し、「宮川右岸堤防改修景観検討委員会」で景観や歴史等、様々な観点から意見・助言・フォローアップをいただきながら、改修工事を進めていきます。



宮川右岸堤防改修景観検討委員会における検討状況



問合せ先・連絡先

宮川右岸堤防の改修について、ご意見やご質問などありましたら、下記までお寄せください。宮川右岸堤防改修景観検討委員会のホームページもぜひご覧ください。

URL : <http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/jigyo/kasen/miyakeikan/index.html>

【問合せ先・連絡先】



国土交通省中部地方整備局 三重河川国道事務所
工務第一課 TEL 059 - 229 - 2219（代表）
Eメールアドレス：mie@cbr.mlit.go.jp

宮川右岸堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画

この度、三重河川国道事務所では、流域の安全・安心な暮らしの確保のため、平成26年4月より、宮川右岸堤防(桜堤)の改修工事に着手することになりました。宮川堤防(桜堤)の景観に配慮した改修計画についてご紹介いたしますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



宮川右岸堤防（桜堤）改修について

宮川は、流域面積 920km²、幹川流路延長 91km の三重県内最大の河川です。宮川流域は夏期を中心に豪雨をもたらす特性があるため、沿川住民は水害との闘いの歴史を積み重ねてきました。

近年では、平成 16 年 9 月洪水により、中島・大倉地区に大きな被害があったことから、床上事業を実施しましたが、まだ、河川の整備が必要な区間があります。

そこで、三重河川国道事務所では、流域の安全・安心な暮らしの確保のため、宮川右岸堤防（桜堤）の改修工事を実施するものです。

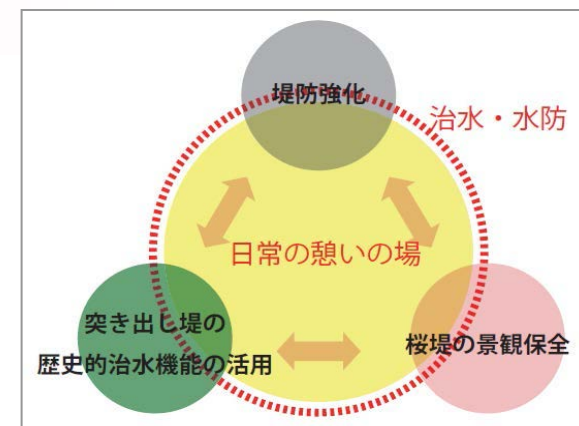


宮川右岸堤防（桜堤）改修計画の基本方針

宮川堤の改修は、歴史的施設や桜の名所としての空間構造を最大限残すという視点から、宮川の多様な自然環境や地域の風土・歴史等に配慮しながら、堤防を強化する必要があります。

「次回の式年遷宮を迎える頃には、見ごたえのある平成の桜堤を！」をコンセプトに宮川堤の改修を進めていきます。

- まちづくりと一体となった堤防改修
- 歴史的なもの、今ある良いものを大事にしてい
- 時間の経過に伴う風景の変化を見越した堤防整備



宮川右岸堤防（桜堤）改修計画区間（約1.0km）

